

週刊読書人

毎週金曜日発行
定価 280円
本体 259円

株式会社 読書人 発行
東京都新宿区矢来町1-0-9
郵便番号162-0805
電話 03(3260)5791(代)
FAX 03(3260)5507
振替口座 00150-9-57070
前金購読料50週13000円
http://www.dokushojin.com
©株式会社読書人2018

さらに親しみやすく、わかりやすく！
国立国語研究所の日本語コーパスを全面活用。
現代国語例解辞典 第五版
監修 林 巨樹・松井 栄一 定価・本体2,900円(税別)
日本文学に於ける七千語「現代」を学んだ日本語がわかる。
辞典の
小学館
読者サービスセンター
TEL.03-5281-3555



大学生がすすめる本

モーリス・ドリュオン作

『みどりのゆび』

大阪樟蔭女子大学 田畑 果奈実

本作の主人公チトは、植物の種を成長させる力、「みどりのゆび」を持っていることに気づく。そして刑務所や病院、戦争の道場などに植物を生やすことで周囲を変化をもたらし、いくとっていくのがある。

チトは、世の中の当たり前を「当たり前」として受け入れ生活している人々と対照的に、それに対して疑問を持って考えをめぐらせていくのだ。

そもそもチトはお金持ちの両親のもとで育ち、何不自由ない生活を送っていた。しかし、その背景には戦争がある。チトが住む町ミルポワルは、たく



小B6・214頁・640円
岩波書店
978-4-00-114101-6
TEL.03-5210-4000

さ、チトはひょんなことから学校教育ではなく現場を直接見る学習方法をうけるようになる。その先生の一人が、かみなりおじさんという男である。まさに世の「当たり前」を信じている人であるが、その教えはチトの自我が芽生えるきっかけとなる。

たとえば、かみなりおじさんが規律と、規律をみたした人が入る場所である刑務所についてチトに説明する場面がある。従来では「うなんだ」と納得した



★たばた・かみなり大阪樟蔭女子大学 学芸学部国文学科4年生。近現代文学ゼミに所属しており、現在は太宰治の『女の決闘』に関心を持っています。これから卒業論文の執筆に向けて頑張ります。

人の言う通りにする子が大半で、それが『いい子』として評価されている。しかしチトは、そんな風に扱われる囚人の姿を見て「あそこにとこめられたら、たとえわがままでもなんでもなく、しまいはきつてもいいわんな人間になってしまおうと考える。かみなりおじさんと周囲の大人は、「当たり前」にひっきりかきを感じるチトを「へんな子どもだ」と煙たがる。

「思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。」というマザー・テレサの言葉がある。この作品に限らずいえることであるが、はじまりはやはり思考だ。彼女は思考がきっかけで言葉、行動、習慣、性格、そして運命になると述べた。同じように、チトという小さな子供の考えは、やがて町や戦争の運命も変えるのだ。

表現

読書

思索

週刊読書人

読書人は若い人の伸びていく力を応援します！

「週刊読書人」(3238号)6面 2018年5月11日号掲載

※ 所蔵情報

「みどりのゆび」 モーリス・ドリュオン作 岩波書店
(岩波少年文庫 101) 909.8||I1||101 ID:361184B

お下
▽映画時評
▽著者から
▽インタビュー
▽重宝という